

動画解説まとめ 33 / AI活用

Gensparkで仕事の資料と 素材を作る 機能別ガイド

スライド・表・文書・サイト・画像・音楽・動画の作成例をまとめた機能案内。完成物から使う機能を選び、修正しながら仕事へつなげる流れを整理しました。

この動画の要点

Gensparkを、複数のAIモデルと制作機能をまとめて使う作業場所として紹介した動画の資料です。書籍からのスライド作成、Xの競合調査シート、配布用文書、サムネイル制作者のサイト、画像の文字修正などの実演を整理しています。音楽・動画・会議メモ・音声入力・カスタムエージェントも、何を作りたいときに選ぶ機能かという観点でまとめました。モデルの名前を追うだけでなく、必要な完成物から選ぶための案内です。

01 作りたい完成物から、チャット・スライド・シート・文書などの機能を選ぶ。

02 スライドは細かな編集を優先するか、画像としての見た目を優先するかでモードを分ける。

03 調査結果を表や資料へまとめ、次の仕事に使える形へ変える。

04 生成サイトの作品・料金・実績は、自分の実物と正しい内容に置き換える。

05 繰り返す作業はカスタムエージェントへまとめ、費用は実際の使用量で考える。

資料の使い方

動画の要点を読み返し、紹介した手順を実践するときにお使いください。本文の時刻を押すと、元動画の該当箇所を開けます。

元動画：【まだAI選んで消耗しているの？】無料でAI使うならコレ！AIエージェントが無料で使えるジェンスパークの使い方超初心者向け徹底解説【Genspark】【AIエージェント】

<https://www.youtube.com/watch?v=xqz4Rk0zb74>

調べる・比較する作業の入口を選ぶ

動画の該当箇所 6:45 / タップして開く

Gensparkは、複数のAIモデルと制作機能を一か所で使える作業場所として紹介されています。左側のプラスボタンから目的に合うモードを選び、AIチャットではモデルを切り替えられます。新しいAIが出るたびに別のサービスを調べる負担を減らしたい人に向く、というのがあべさんの評価です。

チャットのエージェントモードでは、ネット上の情報を探しながら回答する例を見せています。実演の質問は、その時点で話題になっているAIニュースです。さらにGrokを選び、新しいClaudeモデルに対するX上の反応を集める依頼も行っています。調査対象と欲しい情報の種類を分けて伝える使い方です。

投稿の反応を集めることと、内容の正しさを確認することは別です。ニュース、利用者の感想、公式情報を同じ確定事項にせず、どの種類の材料が必要かを考えます。動画に出るモデル名は撮影時点の選択肢であり、各社の専用サービスとすべて同じ機能が使えるという一覧ではありません。

- ・ 情報を聞きたい：AIチャットを使う。
- ・ 調査して整理したい：検索を伴うエージェントの動作を使う。
- ・ 特定の利用者反応を見たい：対象と情報源を具体的に伝える。

文章やメモからスライドを作る

動画の該当箇所 9:19 / タップして開く

AIスライドでは、作りたい内容を文章で伝えるか、元のファイルをアップロードします。実演では、あべさん自身の書籍を渡し、冒頭から序章までをスライドにまとめるよう依頼しました。長い完成原稿がなくても、メモや自分の考えを材料にできると説明しています。

モードは、細かな編集がしやすいプロフェッショナルと、画像生成を使って見た目を重視するクリエイティブを比較しています。後者は一枚の画像としてできるため、部分的な修正には違いがあります。見栄えだけでなく、後から何を直したいかを考えて選ぶという使い分けです。

実演はプロフェッショナルで生成し、元の書籍で紹介していた事例がスライドへ整理されていることを確認しています。生成後は順番、要点、表現が原稿と合っているかを見ます。図や見出しが整っていることと、資料の内容が正確であることを別々に確かめる必要があります。

- ・ 材料：説明文、手元のメモ、使用できる原稿ファイル。
- ・ 操作：まとめる範囲と用途を伝え、編集の必要度でモードを選ぶ。
- ・ 完成物：説明や発表に使うスライドの下書き。

調査や数字を、表と読み物へ整理する

動画の該当箇所 12:07 / タップして開く

AIシートは、表の作成やデータの整理に使う機能です。複数のExcelファイルを渡して統合・分析する使い方が説明され、実演ではAI副業についてXで発信するための競合と、表示回数の多い投稿例をまとめるよう頼んでいます。

完成したシートには、競合の一覧、人気投稿の特徴、投稿の方向や時間帯の案などが入っていました。あべさんは自分も一覧へ登場したことを確認しています。表にすれば、資料を読むたびに同じ情報を探す負担が減り、投稿の改善を考えやすくなります。Excel形式で書き出し、後から編集できる点も紹介されています。

AIドキュメントでは、noteの記事作成やSEOに役立つAIの一覧を、配布用資料にまとめる例を見せています。見た目を整えるリッチテキストと、文章を簡潔に整理するマークダウンの違いを確認しました。企画書・報告書・調査資料など、相手が何を知りたいかに合わせて形式を選びます。

- ・ シート：複数項目を比べる、数値を並べる、後で更新する。
- ・ ドキュメント：説明や調査結果を順序立てて読んでもらう。
- ・ AIの戦略案や投稿時間案は、調査結果を踏まえた提案として検討する。

実績を見せるサイトを作る

動画の該当箇所 17:01 / タップして開く

AIデベロッパーでは、WebサイトやWebアプリを選び、ビルドを開始してモデルを選択します。実演の依頼は、サムネイルデザイナーとして仕事を受けるためのポートフォリオサイトを作ることです。出来上がった画面には、作品の見せ場や料金プランなどが配置されました。

作られた例の画像を自分の実績として使うのではなく、実際に自分が制作したサムネイルをアップロードして差し替える使い方が説明されています。料金の表示も、自分が提供する内容に合わせて整える必要があります。完成の基準はページが存在することだけでなく、相手が何を頼める人が理解できることです。

あべさんは依頼する側の目線から、作品がまとまったサイトのURLがあると、作風や実績を確認しやすいと語っています。動画編集やライティングでも、仕事の内容を見せる場所として応用する考え方です。この実演ではサイトの案が作られたところまでを扱い、受注の成立を確認した事例ではありません。

- ・ 材料：仕事の種類、実際の作品、提供内容と料金。
- ・ 操作：サイトを生成し、自分の作品と説明へ差し替える。
- ・ 活用：仕事を相談する相手へ、制作実績を見てもらう。

文字入りのデザインと、素材画像を使い分ける

動画の該当箇所 20:04 / タップして開く

AIデザイナーはポスター・チラシ・バナーなど、文字を含む制作物の例として紹介されています。一方の画像機能は、人物・キャラクター・風景などの素材づくりに使う説明です。何を描くかだけでなく、完成した画像をどこへ使うかで入口を選びます。

サムネイルの実演では、チャンネル名とGensparkの初心者向け解説というテーマを伝えます。複数案を見比べた後、画像を選び、文字の「初心者向け」を「超初心者向け」に変更しました。生成画像をそのまま使うだけでなく、デザイナーへ方向性を伝える見本にもできると話しています。

画像機能ではモデル、比率、スタイルなどを選べます。実演は16対9、フラットイラストのスタイルで、YouTubeのアシスタントという設定の架空の秘書キャラクターを生成しています。スタイルの見本を見ながら選べるため、画風の名前を知らなくても希望を伝えやすいという説明です。

- ・ 文字を読ませる制作物は、文章とデザインをまとめて確認する。
- ・ 素材画像は、比率や画風を利用場所に合わせる。
- ・ 気に入った案も文字や細部を確認し、必要なところを修正する。

音楽・短い動画を目的に合わせて作る

動画の該当箇所 24:33 / タップして開く

AI音楽ではモデルとジャンルを選び、どんな用途の曲が欲しいかを伝えます。実演は、チャンネル登録を促す歌詞を含む、明るい広告ソングの作成です。あべさんは、既存の素材から目的に合うものを探しにくかった経験をもとに、自分の発信に合う曲を作る使い道を紹介しています。

AI動画では、モデル、長さ、画面比率、画質、音声の有無などを設定します。実演は自分の写真を渡し、人物が手を振る短い動画を作る内容です。完成動画に音声も含まれたため、音声が不要なら設定を外すという補足もありました。

動画はクレジットの消費が大きいので、何へ使うかが決まっていなければ無理に生成しなくてもよいと話しています。生成できる種類を増やすことより、必要な場面に合う素材を用意することを優先します。

- ・ 音楽：用途、歌詞に含めたい内容、曲調を伝える。
- ・ 動画：元画像と希望の動き、長さ・比率・音声を確認する。
- ・ 消費量を確かめ、完成物を実際に使う予定と照らし合わせる。

音声入力と繰り返し作業をまとめる

動画の該当箇所 28:46 / タップして開く

AI会議メモは、録音した内容を文字や要約へ変える機能として紹介されています。スマホ側の録音をパソコン側でも使えるため、打ち合わせの内容を後から整理する流れにつながります。Speaklyは音声入力の例で、「えー」などを除いて文章化する実演を見せています。細かな修正だけキーボードで行う使い方です。

カスタムエージェントは、繰り返す一つの仕事へ向けた設定に使います。新規作成画面の左で何をするエージェントか伝え、右で試します。動画では、YouTubeのデータから次の企画を考える、指定形式でレポートを作る、商品情報を参照して説明する、といった用途が挙げられています。

料金は機能の利用に応じてクレジットを消費する仕組みとして説明されています。動画は、まず小さく試して不足したらプランを考える方針です。新しいAIを追うためだけに時間や契約を増やすのではなく、今の仕事に必要な完成物を一つ作り、使いやすさと使用量を判断します。

- ・ 一度きりの作業は、目的に合うモードで試す。
- ・ 同じ入力から同じ形式の成果物を作る仕事は、エージェント化を考える。
- ・ 音声入力も生成資料も、最終的な内容を確認してから仕事へ使う。

実践の進め方

01 最初の完成物を一つ決める

スライド、比較表、文書、サイト、画像などから、今の仕事で必要なものを選びます。

動画 6:45

02 材料と完成の目的を伝える

元の文章やファイルを渡し、どの範囲を誰に見せる形へまとめたいかを指定します。

動画 9:19

03 生成結果を見て具体的に直す

画像なら文字、サイトなら実際の作品など、変更する対象を示して修正します。

動画 21:25

04 使える形へ仕上げる

シートはExcelへ書き出すなど、後の編集や共有に合う形式へ整えます。

動画 14:43

05 繰り返す作業だけ設定をまとめる

毎回同じ資料や形式を使う仕事はカスタムエージェントへ設定し、テスト画面で試します。

動画 32:14

AIへの相談例

編集部が作成した活用例です。動画内の発言をそのまま書き起こしたものではありません。

【編集部による活用例・動画の逐語プロンプトではありません】この資料を根拠に、記載外の補足は区別し、私の状況を質問してから進めるようにしてください。今作りたい成果物、手元の材料、後から編集する必要があるかを確認し、Gensparkのどの機能を試すか整理してください。最初の依頼内容と、生成後に確認する項目を具体化してください。

資料について

- ・元動画の自動字幕をもとに、機能の用途と実演内容を整理しています。元動画はGenspark提供の企業案件です。
- ・モデル名、料金、無料枠、生成時間・長さなどは動画時点の説明です。各モデルの提供範囲や素材の利用条件は利用時に確認してください。
- ・使いやすさや仕上がりの順位は話者の評価です。生成された作品例や料金案を、自分の確定した実績として扱わないでください。